

## 平成23年科学技術研究調査

## 調査票甲（企業等A）

平成23年3月31日現在

総務省統計局

基幹統計調査

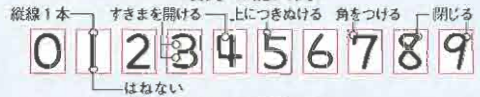
この調査は、統計法に基づき政府  
が実施する基幹統計調査です。  
秘密の保護には万全を期していま  
すので、ありのままを記入してく  
ださい。

## 記入の仕方

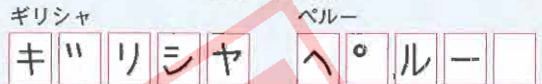
- 記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消して書き直してください。
- 答えを記入する欄が○の場合は、あてはまる○を●のようにぬりつぶしてください。
- 答えを数字で記入する欄は、□の枠内に1文字ずつ右につめて例のように記入してください。
- 答えを文字で記入する欄は、□の枠内に1文字ずつ左につめて例のように記入してください。

## &lt;○の記入例&gt;

## &lt;数字の記入例&gt;



## &lt;文字の記入例&gt;



名称・所在地

□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---

代表者	職名	フリガナ	氏名
記入者	部課名	フリガナ	氏名
電話	市外局番	局番	番号 内線

- 記入の際は「記入上の注意」を参照してください。
- 研究実施の有無にかかわらず1面から3面の「【3】研究実施の有無」まで記入し、研究を実施している場合（社外へ研究費を支出している場合を含む。）には、更に3面の「【4】研究関係従業者数（3月31日現在）」から8面まで記入してください。
- 従業者関係事項は3月31日現在、財務関係事項は3月31日又はこの直近の決算日からさかのぼる1年間分を記入してください。
- 記入した調査票は、お手数ながら7月15日までに郵送により提出してください。

## 【1】企業等の現況を記入してください

企業等の事業の種類（22年度）		生産品名又は営業種目を売上実績の多いものから順に記入してください		
001		002	003	004

## 従業者総数（3月31日現在）

005 十 万 千 百 十 一 人

□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---

## 資本金（3月31日現在）

006 十 兆 千 億 百 億 十 億 億 千 万 百 万 円

□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

## 総売上高（22年度）

007 十 兆 千 億 百 億 十 億 億 千 万 百 万 円

□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

## 営業利益高（22年度）

008 十 兆 千 億 百 億 十 億 億 千 万 百 万 円

□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

統計局使用欄

□	□	□	□
---	---	---	---

【2】国際技術交流の有無を記入してください

○ 「国際技術交流」とは、外国との間においてパテント、ノウハウや技術指導などの技術の提供、受入れをした場合をいいます。

009    あり    なし  
          ○       ○  
    『あり』の場合は下欄も記入してください

技 術 輸 出	相手先企業の国籍名	金 額	うち親子会社
	010 合 計 (国籍名はワタ中に1字ずつカナ文字で記入してください)	011 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円	012 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

技 術 輸 入	相手先企業の国籍名	金 額	うち親子会社
	013 合 計 (国籍名はワタ中に1字ずつカナ文字で記入してください)	014 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円	015 千億 百億 十億 億 千万 百万 十万 万円
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

## 【3】研究実施の有無を記入してください

- この調査における「研究」とは、事物、機能、現象などについて新知識を得るために、又は既存の知識の新しい活用の道を開くために行われる創造的な努力及び探求をいいます。
- 特に会社の場合には、いわゆる研究のみならず、製品及び生産・製造工程などに関する開発や技術的改善を図るために行われる活動も研究となります。

016	1 社内で研究を実施している (社内で研究を実施していなくても 貴社が給与等を支給して社外で研究関係業務を行っている出向者がある場合も含みます この場合は【8】から【13】まで記入してください)	○ →【4】から【13】まで
	2 社内で研究を実施していないが 社外に研究費を支出している	○ →【12】 【13】
	3 研究を実施していない	○ →終了です

- 社内で研究を実施している場合には、所属の研究所、研究部、課、室名などを記入してください。

## 【4】研究関係従業者数（3月31日現在）を記入してください⑥

	実 数 ⑤		実際に研究関係業務に従事した割合であん分した値⑤
	017 万 千 百 十 一 人	024 うち女性 024 万 千 百 十 一 人	
総 数 (018, 021~023の計 025, 028~030の計)			
研 究 者	018	025	
主に研究に従事する者	019	026	
① 研究を兼務する者	020	027	031 万 千 百 十 一 人
研究補助者②	021	028	032
技 能 者 ③	022	029	033
研究事務その他の関係者 ④	023	030	034
研究者のうち博士号 取得者	035 万 千 百 十 一 人		

- ① 「研究者」とは、大学(短期大学を除く。)の課程を修了した者、又はこれと同等以上の専門的知識を有する者で、特定のテーマをもって研究を行っている者をいいます。
- ・ 「主に研究に従事する者」とは、業務のうち研究関係業務に従事した時間が主である者をいいます。
  - ・ 「研究を兼務する者」とは、業務のうち研究関係業務に従事した時間が主でない者をいいます。
- ② 「研究補助者」とは、研究者を補佐し、その指導に従って研究関係業務に従事する者をいいます。
- ③ 「技能者」とは、研究者又は研究補助者の指導・監督の下に研究に付随する技術的サービスを行う者をいいます。
- ④ 「研究事務その他の関係者」とは、研究関係業務のうち庶務、会計、雑務などの事務に従事する者をいいます。なお、管理者のうち研究経歴のある者は「研究者」に含めてください。
- ⑤ 「実数」は、研究関係業務に従事する人数を記入し、「実際に研究関係業務に従事した割合であん分した値」は、「実数」に、業務のうち研究関係業務に従事した時間の割合を乗じた人数を記入してください。
- ⑥ 研究関係業務に従事している社外からの出向者も記入の対象としてください。

【5】採用・転入研究者数を記入してください

【6】転出研究者数を記入してください

採用・転入研究者合計 (037, 038, 040~043の計)		036	万	千	百	十	一	人
新規採用者		037						
転入者	会社	038						
	うち親子会社	039						
	非営利団体	040						
	公的機関	041						
	大学等	042						
	その他	043						

転出研究者数	044	万	千	百	十	一	人
うち親子会社	045						

- 「採用・転入研究者」とは、「【4】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部から加わった者をいいます。  
(昨年の4月1日から今年の3月31日までの異動について記入してください。)
- 「転出研究者」とは、「【4】研究関係従業者」の「研究者」にあたる者で外部に転出した者をいいます。  
(昨年の4月1日から今年の3月31日までの異動について記入してください。)
- 出向者も記入の対象としてください。

【7】研究者の専門別内訳を記入してください(3月31日現在)

合計 (047~065の計 067~085の計)		総数		うち女性										
		046	万	千	百	十	一	人	066	千	百	十	一	人
自然科学部門	数学・物理	047							067					
	化学	048							068					
	生物	049							069					
	地学	050							070					
	その他	051							071					
	機械・船舶・航空	052							072					
	電気・通信	053							073					
	土木・建築	054							074					
	材料	055							075					
	繊維	056							076					
その他	057							077						
人文・社会科学部門	農林	058	万	千	百	十	一	人	078	千	百	十	一	人
	農獣医・畜産	059							079					
	水産	060							080					
	その他	061							081					
	医学・歯学	062							082					
	薬学	063							083					
	その他	064							084					
	その他	065							085					

「専門別内訳」では、「【4】研究関係従業者」の「研究者」数(018及び025)の内訳を専門的知識別に記入してください。

研究費に関しては、経理上研究費の項目として計上されていない場合でも、研究のために使用した経費を分離して記入してください。

また、現物収入又は現物支出の場合には、時価に評価して含めて記入してください。

## 【8】社内で使用した研究費を記入してください

- 自己資金、社外から受け入れた資金を問わず社内で使用した研究費の1年間分を記入してください。  
なお、研究部門と他の部門とに分けて算出することが困難な場合には、あん分した金額を記入してください。

総 額 (087~089, 093, 094の計)	086	千	百	十	千	百	十	万	円
人 件 費 ①	087								
原 材 料 費 ②	088								
有形固定資産の 購入費 ③	089								
土地・建物など	090								
機械・器具・装置 など	091								
その他の有形固 定資産	092								
リ ー ス 料 ④	093								
その他の経費 ⑤	094								
有形固定資産の 減価償却費 ⑥	095								

① 「人件費」とは、研究関係の従事者に対して1年間に支払った給与等（基本給、諸手当、賞与等で定期・臨時に支払われたもの）の総額（所得税、地方税、保険料などを差し引く前の総額であって、いわゆる手取り額ではない。）のほか、退職金、社会保険料などを含めたものうち、研究のために要したものをいいます。

給与等を支給している社外への出向者がいる場合は、その者の給与等も「人件費」に含めてください。

② 「原材料費」とは、研究のために要した主要原料費、主要材料費、補助材料費、部分品費、試作品費などを含めた総額をいいます。

③ 「有形固定資産の購入費」とは、研究に必要なすべての有形固定資産をいいます。

・ 土地・建物など－土地、建物（附属設備を含む）、構築物、船舶、航空機

・ 機械・器具・装置など－耐用年数1年以上でかつ取得価額が10万円以上の機械、装置、車両、その他の運搬具、工具、器具及び備品

・ その他の有形固定資産－建設仮勘定など

④ 「リース料」とは、研究のためにリース契約に基づいて支払った金額をいいます。土地、建物の貸借、短期間のレンタル、チャーター等は含みません。

⑤ 「その他の経費」とは、研究のために要した図書費、光熱水道費、消耗品費等を含めた総額をいいます。

⑥ 「有形固定資産の減価償却費」とは、研究のために使用された建物、構築物、船舶、機械、車両などの有形固定資産に対する減価償却費をいいます。

## 【9】理学、工学、農学、保健の性格別研究費を記入してください

- 「【8】社内で使用した研究費」の「総額」のうち理学、工学、農学、保健の自然科学に関する研究費を性格によって分類し記入してください。分類単位は原則として研究テーマごとに行いますが、それが困難な場合には、研究者又は研究室ごとに分類しても差し支えありません。

総 額 (097~099の計)	096	千	百	十	千	百	十	万	円
基礎研究費 ①	097								
応用研究費 ②	098								
開発研究費 ③	099								

分類の一般の定義は以下のとおりです。

### ① 基礎研究

特別な応用、用途を直接に考慮することなく、仮説や理論を形成するため又は現象や観察可能な事実に関して新しい知識を得るために行われる理論的又は実験的研究をいいます。

### ② 応用研究

基礎研究によって発見された知識を利用して特定の目標を定めて実用化の可能性を確かめる研究や、既に実用化されている方法に関して新たな応用方法を探索する研究をいいます。

### ③ 開発研究

基礎研究、応用研究及び実際の経験から得た知識の利用であり、新しい材料、装置、製品、システム、工程等の導入又は既存のこれらのものの改良をねらいとする研究をいいます。

**【10】 製品・サービス分野別研究費を記入してください**

- 「製品・サービス分野別研究費」では、「【8】社内で使用した研究費」の「総額」を製品・サービス分野別に分類し記入してください。  
 なお、製品・サービス分野別に区分できない場合には、研究者数を考慮するなどして、あん分によって金額を算出し記入してください。

総額 (101～134の計)	100	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万円											
農林・水産品	101									金属製品	118									
鉱業	102									一般機械器具	119									
建築・土木	103									家庭電気製品	120									
食料品	104									電気機械器具 (120を除く)	121									
繊維	105									情報通信機械器具・電子部品	122									
パルプ・紙	106									自動車	123									
出版・印刷	107									航空機	124									
化学肥料、無機・有機化学工業製品	108									鉄道車両	125									
化学繊維	109									その他の輸送用機械	126									
油脂・塗料	110									精密工業製品	127									
医薬品	111									その他の工業製品	128									
その他の化学工業製品	112									電気・ガス	129									
石油・石炭	113									ソフトウェア・情報処理	130									
ゴム製品	114									その他 「製品・サービス」を明記	131									
窯業・土石	115								132											
鉄鋼	116								133											
非鉄金属	117									134										

**【11】 特定目的別研究費を記入してください**

- 「【8】社内で使用した研究費」の「総額」のうち、下記の分野に関する研究を行っている場合には、それぞれの研究費を記入してください。

ライフサイエンス分野 ①	135									ナノテクノロジー分野 ⑤	139									
情報通信分野 ②	136									エネルギー分野 ⑥	140									
環境分野 ③	137									宇宙開発分野 ⑦	141									
物質・材料分野 ④	138									海洋開発分野 ⑧	142									

\*\*\*【3】研究実施の有無で「2」を選択した場合は、ここから記入してください\*\*\*

【12】社外から受け入れた研究費を記入してください

- 収入名目(受託費、補助金、交付金等)のいかんを問わず、社外から研究費として受け入れた金額の総額を左欄に記入し、そのうち、社内で使用した研究費は右欄に記入してください。

総 額		受 入 額							うち社内で使用した研究費													
〔144～155の計〕 〔157～168の計〕		143	千	百	十	千	百	十	万	万	円	156	千	百	十	千	百	十	万	万	円	
公 的 機 関	国	144									157											
	地方公共団体	145									158											
	国・公立大学	146									159											
	国・公営 の研究機関	147									160											
	そ の 他	148									161											
	特 殊 法 人 ・ 独 立 行 政 法 人	研 究 所 等	149									162										
		公 庫 等	150									163										
そ の 他		151									164											
会 社	152									165												
私 立 大 学	153									166												
非 営 利 団 体	154									167												
外 国	155									168												

<特定目的別研究費について>

- ① 「ライフサイエンス分野」とは、生命現象及び生物の諸機能を解明するとともに、その成果を医療、農業、工業、環境保全、エネルギー開発などの諸分野に広く活用し、人間生活の向上発展を指向する研究をいいます。
- ② 「情報通信分野」とは、ハードウェア、ソフトウェアに関する研究のほか、ネットワークの高度化、膨大な情報の高速分析・処理や蓄積が可能な高度コンピューティングの開発等に関する研究をいいます。
- ③ 「環境分野」とは、自然環境の汚染が生命・財産に与える影響の解明、自然環境の汚染及び破壊の防除、無公害化の達成などに関する研究をいいます。
- ④ 「物質・材料分野」とは、情報通信、医療等の基盤となる原子・分子サイズでの物質の構造等の解明・制御、省エネルギー・省資源・リサイクルに込める付加価値の高いエネルギー・環境用物質・材料の開発等に関する研究をいいます。
- ⑤ 「ナノテクノロジー分野」とは、ナノサイズ特有の物質特性等を利用した機能の発現等に関する研究をいいます。
- ⑥ 「エネルギー分野」とは、エネルギー資源の開発及びその合理的利用に関する探査、生産、転換、輸送、消費、安全等に関する研究をいいます。
- ⑦ 「宇宙開発分野」とは、ロケット及び人工衛星に関する研究並びに追跡・通信等のための地上設備に関する研究をいいます。ただし、天文学・気象観測は含めません。
- ⑧ 「海洋開発分野」とは、生物資源の増養殖、鉱物資源の開発、海洋空間、海水の利用等の研究に関する海洋調査及び技術開発をいいます。

【13】社外へ支出した研究費を記入してください

- 支出名目(委託費、賦課金等)のいかんを問わず、社外へ研究費として支出した金額の総額を左欄に記入し、そのうち、自己資金から支出した研究費は右欄に記入してください。

総 額		支 出 額							うち自己資金から支出した研究費									
		169	千	百	十	千	百	十	万	円	180	千	百	十	千	百	十	万
170～179の計																		
181～190の計																		
公 的 機 関	国・地方公共団体	国・公立大学	170								181							
		国・公営の研究機関	171								182							
		その他	172								183							
	特殊法人・ 独立行政法人	研究所等	173								184							
		公庫等	174								185							
		その他	175								186							
会 社	176								187									
私 立 大 学	177								188									
非 営 利 団 体	178								189									
外 国	179								190									

備 考 欄	(名称、所在地、業務などの変更のほか、記入に関連のある特記事項を記入してください)
-------------	---